

島前高校だより

ブータン訪問

7月31日(日)から8月6日(土)の1週間、生徒4名がブータン王国を訪問しました。今回の訪問は、今年度から本格的に始まった、島前高校と海外との交流の一環でした。

今回の高校だよりでは、訪問した4名を代表して2年生の万代涼さん(海士中学校出身)と伊藤圭那さん(西ノ島中学校出身)に話を聞きました。

—どうしてブータン行きを希望したのか。

① ①1年生の時の「夢探究」の授業で、早稲田大学の平山先生が来てくださり、そこでブータンの話を聞きました。そこで、ブータンの小・中・高校生に「あなたの夢は何か?」と聞いている動画を見たら、みんなが一緒に「周りの幸せが自分の幸せ。」と答えていて…。それに衝撃を受けて、「ブータンってどんな所だろう。」と興味を持つようになり、ブータン王国訪問希望者の応募があった際に手を挙げました。

② **ブータンで何をしたいのか。**

③ ③テーマは、自分たちで決めまし



た。ブータン行きを希望した6人で考え(面接でもれてしまった2人も加えて6人)、『島前とブータンの幸せの相違点』を調査していくことにしました。行く前に、島前高生の幸せについてアンケートをとったり、夢探究の授業で見たブータンの動画の島前高生版を作ったりしました。それらをブータンで披露するために英語になおすのは大変でした。

—行って一番感じたことは。

④ ④臭いが見つかったです! ブータンは、自然が豊かできれいな場所だと思っていたのに、首都ティンプーはそうではなかった。

⑤ ⑤近代化が結構進んでいて、高校生はみんなが携帯電話を持っていました。日本に近い感じ。でもインタビュすると、「ブータンが好き。」「国王が好

き。」という人ばかりで、そこは日本と違っていました。

—勉強になったことは。

⑥ ⑥自分が、都会にあこがれすぎたことに気付きました。ティンプーの臭いは、本当に死にそうだった(笑)。ティンプーから田舎に行くと、深呼吸をする自分がいて…。そこで、「自分はいい所(海士)に住んでいるんだ。」と思いました。海士で過ごしていると無臭の空気なんて当たり前のものだったけど、価値のあるものだということに気付きました。

⑦ ⑦ブータンの中学生や高校生は、「ブータンの伝統文化が大切だ。」と言っていました。「伝統文化を守り、中国やインドとは違う国であることを示さないと、侵略される恐れがある。」という考えからでした。私達も、住んでいる所(島前)のことをもと知らないといけないということを感じました。

—ブータンに行くまでの生活とこれからの生活で変えてみようと思うことがあるか。

⑧ ⑧空気を汚さないようにしたい(笑)。ブータン訪問でガイドをしてくださったペマさんが「日本の都会は、あつちからもこっちからも人が来ていて、文化が壊されていつている。だから、着物を着ることもないでしょ。」と話していました。ここ(島前)は、このまま(今のまま)にしておきたいと思います。

⑨ ⑨西ノ島のことを調べたいです。例えば今は、船引運河に興味があります。その物があることは知っているけど、歴史や始まりなどはよく知らない。「あれ?」と、興味がわいた時にきちんと調べ、知るようになっていきたいです。

—ブータンに行って、伝えたいことがあればどうぞ。

⑩ ⑩島前高生生の皆さんに。特に、島内生の皆さんには、せつかく行ける機会があるのだから、海外にも行ってみたいと思うといいと思います。行ってきた私達の話を聞くより、実際に行った方が絶対に楽しいです。

⑪ ⑪そうだよ。島前高生にはもつとチャレンジしてほしい。私は、ブータンに行つて気付いたことがたくさんあります。海外に行く機会があったら、積極的に行くといいと思うし、島前地域にも積極的に出て行ってほしいです。積極的に動くことで、たくさんの気付きがあるはずですよ。意外と楽しいですよ!



島前高校の特色ある取り組み。そこで学ぶ生徒の姿。今後も定期的にお伝えします。